

伐木造材技術競技会参加者募集要領

1 参加申し込みについて

別紙1(参加申請書)に必要事項を記入し、添付書類とあわせて、下記事務局までメールまたはファックスにより申し込む。

事務局において、参加申請書および添付書類を確認し、参加決定者には9月25日(月)までに通知する。

【添付書類】

伐木等作業従事者特別教育の修了証写し

【申請期限】

令和5年9月20日(水)まで

【参加者定員】

10名

(参加者の決定は原則先着順とするが、同一の所属から複数人の申し込みがあった場合等は調整する場合もある)

【個人情報の取り扱いについて】

- ・本競技会の実施にあたって収集する個人情報については、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し、個人情報保護方針に基づき取り扱います。
- ・収集した個人情報は、参加案内、関連情報の通知、記録発表に利用いたします。

【事務局・申込書送付先】

秋田県林業労働対策基金

所在地 〒010-0931 秋田県秋田市川元山下町 8-28

電話 18-864-0161 FAX 018-827-5678 メール: akirinro@m18.alpha-net.ne.jp

2 内容について

- ・開催日時 令和5年10月7日(土)9:00~14:30
- ・開催場所 秋田県林業研究研修センター(秋田市河辺戸島)
- ・対象者は、原則、林業に就業している者とする。

なお、高校生や秋田県林業大学校研修生で伐木等作業従事者特別教育を修了している者も参加可能とする。

- ・競技は簡易伐倒1種目とする。

- ・立てた丸太に受け口と追い口を作成する。
- ・伐木作業の安全な手順と受け口、追い口の寸法の正確さを評価する。

3 評価方法

- ・受け口・追い口の正確性や質と安全な作業内容に対し、評価項目を設定し、評価する。
- ・結果を計測するために、各種目に応じた適切な計測器を使用する。
- ・評価については別紙2(評価シート、評価基準)のとおりとする。

4 使用機器等について

- ①チェーンソーは、日本国内の法規定による検査に合格した正規品を使用する。
- ②チェーンソー及びチェーンソーの付属品(バー、ソーチェン、レンチ等)については、国内で通常に販売されている未改造の正規品とする。
- ③競技前に次の点を検査する。
 - ・チェーンブレーキ、セーフティロックが正常に動作するか
 - ・チェーンキャッチャー、カバー、クランクケース、ガイドバー、コンビネーションレンチ
 - ・ソーチェーンの刃の長さが適正範囲内であること。
 - ・ガイドバーを固定するナットの状態
 - ・チェーンソーが標準仕様のものか
- ④安全装備等について
 - ・参加者は、競技を行う際、安全保護具(防振手袋、チェーンソー防護靴、チェーンソー防護ズボン、裾締りのよい長袖上着、イヤーマフや顔面保護ネットがついたヘルメット)を着用しなくてはならない。
 - ・安全保護具やその他用具(笛、競技に必要な工具類、燃料・チェーンオイル)は参加者が準備する。

5 競技の進め方

①競技開始の合図

- ・参加者は、競技の準備ができたことを審判に伝える。
- ・審判は開始の合図をする。
- ・開始前、チェーンソーと参加者は、開始ラインよりも前には出てはならない。
- ・始動時、チェーンソーは、地面、または両膝の間に固定する。

②安全に配慮した作業手順・内容についても加対象となる。判定は審判の判断による。(詳細は評価シートを参照)

③受け口・追い口の作成

- ・長さ約1m、太さ28～32cm程度の丸太を用い、丸太固定台の上に設置する。
- ・伐倒方向(目標)は、15m先にポールを設置して目安とする。
- ・クサビ、フェリングレバー等は使用しない。

・受け口・追い口作成の手順

- ①参加者は、審判の呼び出しによりチェーンソーを持って待機位置から丸太の前に進む
- ②審判の合図で、競技者はチェーンソーのエンジンを始動する。エンジン始動後、開始エリア内に待機し、準備ができたことを審判に伝える。
- ③審判の「始め」の合図で競技を開始する。
- ④伐倒目標に向かって倒す想定で、受け口、追い口を作成する。
- ⑤「始め」の合図から7分以内に競技を終了させる。
- ⑥受け口、追い口を作成し終わったら、チェーンソーを停止する(ブレーキをかける)。
- ⑦参加者が待機場所に戻った時点で競技終了となる。

6 評価方法

- ・受け口の角度と深さ、ツルの幅(左右)と高さ(左右)を測定する。
- ・受け口の深さは、ツルの中央から樹皮までの長さを1mm単位で測定する。
- ・受け口の角度は、切り出した三角形のピースの中央部分を角度計を用いて測定する。複数の角度がある場合は平均値とする。
- ・ツルの幅(左右)・高さ(左右)は、1mm単位で測定する。
- ・ツルの幅は、両端を曲金で水平に計測する。
- ・ツルの高さは、両端を曲金で垂直に計測する。
- ・追い口が受け口の会合線を越えて作成された場合はツル幅の値をマイナスとして計測する。
- ・追い口を受け口の会合線よりも下に作成した場合は、ツル高の値をマイナスとして計測する。

(禁止行為は以下のとおり)

- ・スタッフの合図を待たずにエンジンをかける
- ・スタッフのスタート合図前にチェーンソーに触れる。
- ・追いツルがない状態で伐倒方向側に回り込んだ等の危険な行為を行う。
- ・丸太の上から覗き込む。
- ・エンジンをかけた状態でチェンブレーキをかけずにスタート及び退避する。
- ・エンジンをかけた状態でチェンブレーキをかけずにチェーンソーを置く。
- ・指定した場所に退避しない。
- ・退避方法が不適切である(伐倒木に背を向けて退避等)
- ・丸太に故意にマーキングする(故意に手で触れる。)
- ・審判への抗議・意義申し立ては行わないこととする。
- ・ケガ、安全対策の不備、不安全行動等があった場合は競技を中止する。

2023 伐木造材技術競技会 参加申請書

申請月日 令和 年 月 日

フリガナ 参加者氏名		性別	
生年月日	年 月 日		
身分証明書	運転免許証・社員証・学生証・その他() ※当日ご持参ください。		
住所	〒		
電話	※日中連絡のつく電話番号		
E-mail			
血液型	型 RH + ・ -		
競技会使用 チェーンソー	メーカー名	モデル名	シリアル番号
所属先	名称		
	住所		
	電話		
	E-mail		
所属先担当者	氏名		
誓約書			
令和 年 月 日			
<ul style="list-style-type: none"> ・上記記載事項に誤りはありません。 ・募集要項、スタッフの指示を遵守します。 ・必要な安全装具を身に付けて競技に参加します。 ・個人情報について、開催事務局の利用目的に同意します。 			
氏名			

簡易伐倒 評価シート

番号 氏名 タイム

◎必須装備(正常は○をつける。特記事項は余白に記入する。)

○チェーンソーの整備、安全機能、ソーチェーンの状態

○防振手袋、チェーンソー防護靴、チェーンソー防護ズボン、袖締りの良い長袖上着、イヤマフ、バイザー、ヘルメット、笛

◎危険な行動の回避(チェック○×を記入する。)

危険な行動の回避	チェック	得点
正しい方法でチェーンソーを始動している(2点)		
5分以内にチェーンソーを始動できている(2点)		
右手でチェーンブレーキを操作しない(2点)		
歩行時はチェーンブレーキをかけている(2点)		
キックバックが発生していない(2点)		
正しく笛を吹いている(5点)		
正しく指差し呼称ができている(5点)		
得点合計 ①		

追い口・受け口等の寸法

測定:0.1cm単位、1度単位

測定部位	指定寸法	作成寸法	ズレ	得点
受け口の深さ(cm)	8cm			
受け口の角度(度)	45度			
ツル幅・各左右(cm)	3cm	左 右		
ツル高・各左右(cm)	5cm	左 右		
得点の合計 ②				

総得点 (①+②)	
-----------	--

評価基準(満点:100点)

◎チェーンソーによる危険行動の回避 各2点 計10点

◎伐倒合図(笛)のタイミング 全部できて5点

- ・受け口を切る直前(ピッ ピアー)
- ・追い口を切る直前(ピーー ピッ ピアー)
- ・伐倒終了後(ピーー)

◎指差し呼称のタイミング 全部できて5点

- ・伐倒前確認 「上、ヨシ！」
- ・伐倒方向の確認 「まわり、ヨシ！」「伐倒方向、ヨシ！」「退避場所、ヨシ！」
- ・伐倒中の確認 「受け口、ヨシ！」「伐倒方向、ヨシ！」「まわり、ヨシ！」「追い口の位置、ヨシ！」
- ・伐倒終了後の確認 「上、ヨシ！」「材の安定、ヨシ！」

計 80 点

◎追い口・受け口部門

項目	評価基準	加点
受け口・深さ(mm)	ズレ 0～5mm 未満	10 点
	ズレ 5～10mm 未満	5 点
	ズレ 10mm 以上～	0 点
受け口・角度(度)	ズレ 0～5 度未満	10 点
	ズレ 5～10 度未満	5 点
	ズレ 10 度以上～	0 点
ツル幅・各左右(mm)	ズレ 0～5mm 未満	20 点
	ズレ 5～10mm 未満	10 点
	ズレ 10～15mm 未満	5 点
	ズレ 15mm 以上～	0 点
	ツル幅なし	-10 点
ツル高・各左右(mm)	ズレ 0～10mm 未満	10 点
	ズレ 10～20mm 未満	5 点
	ズレ 20mm 以上～	0 点
	ツル高なし	-10 点

※会合線(水平伐りと斜め伐りの切り終わり線)の不一致は、受け口に関する評価(深さ・角度)を0点とする。